

爲了促使台灣的日語學習更朝向「知日」的方向邁進，台灣大學日本研究中心與大新書局合作編輯的教材《台湾から見た日本事情》，以台日比較的視野，針對生活、地理、歷史、宗教、思想、語言、文化、政治、經濟、產業以及交通等各個角度，帶領本教材的使用者，從台灣的角度來接觸、認識、理解日本社會、文化的各種情事。

本教材依主題之關聯性，共分四冊，第二冊以「語言・文化」爲主題，分成十二課來介紹、比較台日雙方的語言和文化等相關內容。透過本教材，讀者不僅能培養、提升日語能力，更能促進對日本各方面的理解。期許本教材的付梓，能對讀者的日語學習，以及對日本的認知有所助益。◆

日本語學習者により「日本を知ってもらえる」ように、台湾の大新書局から本学日本研究センターに共同で台湾から日本を見る・知るという視点で教科書を作ろうと声をかけ、様々な観点(生活・地理・歴史・宗教・思想・言語・文化・社会・政治・経済・産業・交通など)から日本を見て紹介する教科書『台湾から見た日本事情』を出版する運びとなった。

本教科書はテーマの関連性から4冊に分かれている。第2冊目は「言語・文化編」をテーマとし、計12課という構成となっている。言語知識を向上させるだけでなく、台湾から日本を見て、知って、根底まで理解し、台湾と比較するという新しいタイプの教材でもある。このような試みが日本語學習者にとって有益なものとなり、また日本と台湾への理解にもつながるものになればと、心から願っている。◆

台湾から見た日本事情 [言語・文化編]

台灣大學日本研究中心／企劃・徐興慶／監修・林立萍／主編



第一課 台湾と日本との交流 第七課 アニメ

第二課 年中行事

第八課 言語と文化

第三課 伝統文化の饗宴

第九課 日本語の漢字音

第四課 伝統芸能

第十課 次世代文学

第五課 映画文化

第十一課 企業文化

第六課 マンガ

第十二課 クール・ジャパン政策